

2. 地域包括支援センターについて、[] に適切な語句を入れよ。(3点)
「地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、その[]の向上及び[]の増進を包括的に支援すること(介護保険法 115 条の 39 第 1 項)」を目的として設置される、いわば「[]」の中核機関として位置づけられている。

3. 地域包括支援センターの機能はどれか。正しいものには○、誤っているものには×を入れよ。
(○は 2 つのみ) (5 点)
() 介護報酬の支給 () 訪問介護の実施 () 要介護度認定審査
() 高齢者虐待の相談 () 介護予防マネジメント

IV. 医療施設等との連携・協働について、以下の [] に適切な語句を入れよ。(10 点)
退院調整看護師は、[] に向けて治療・[] や看護の [] がスムーズに行えるよう調整する。効率の良い退院調整が行えるよう看護職への [] ・[] を行っている。

V. 以下の終末期がん患者の事例をよく読み、①長期目標を立て、②看護上の問題を優先順位の高いもの 3 つ上げ、③優先順位をつけたあなたの考えを述べなさい。また、それぞれの問題解決に向けた④主要な援助を述べなさい。(20 点)

【事例】 80 歳女性。現在は独身の次女と本人の二人暮らし。主たる傷病名は、認知症と大腸がん
夫は 15 年前に他界し、その後は一人で生活をしていた。4 年ぐらい前に体調が悪くなり、大腸がんと診断され手術をし、人工肛門を造設。2 年ぐらい前から物忘れがひどくなり、一人で生活させておくことが心配になり、次女が自分の家に呼び寄せ同居をすることになった。3 か月前に、がんの再発がわかり、入院したものの、本人は治療を拒否し、何もせず退院した。医師からは癒着が起こった場合、予後は 3 か月ぐらいだといわれている。現在、症状の悪化はなく、本人の自覚症状もない。しかし、同じことを何度も聞いてきたり、毎日同じ服を着ている。日常生活は、今の所自立している。人工肛門の管理も自分で行っており、「娘にはこんなことはさせられない」と一切触らせない。日中は、次女は会社経営をしているため留守がちであり、本人は家に閉じこもり気味。次女は日中一人にさせてしまっている母が心配なため、何かしらサービスを利用したいと思っているが、本人は自尊心が高く、サービスをすべて断ってしまう。そのため現在も何も入っていない。

〈初回訪問時の療養者の言葉〉

「病院には行きたくない」 「娘や他人にお世話になりたくない、自分のことは自分でしたい」

〈初回訪問時の家族(次女)の言葉〉

「日中一人で過ごさせておくのは心配」

「予後はもしかすると 3 か月かもといわれているし、急に悪くなったらどうしたらいいのか・・・」

「長女とはほとんど縁を切っている状態だし、母を見てあげるのは私しかない」

「別々の生活が長かったため、老いている母とどう向き合ったらいいのかわからない」